



平和願い 笑顔の傘咲く

世界の子供たちの笑顔をプリントした傘をさして、平和を訴える「メリー・アンブレラ・プロジェクト」が21日、横浜港の大さん橋国際客船ターミナルで行われた。各国の青年が共同生活を送りながら世界を巡る内閣府の交流事業「世界青年の船」の出港に合わせて、東京のNPO法人「メリー・プロジェクト」(水谷孝次代表)が企画した。子供たちの笑顔で、紛争や貧困に苦しむ人々を勇気づけようと、地震や津波の被害を受けた中国・四川省、インドネシア・バンダアチェなどで同様の活動をしてきた。

出港を知らせる汽笛や音楽が鳴ると、乗船する約300人の学生らのうち約50人と、見送りの家族らが一斉に傘を広げた。写真。筑波大4年の小林雄さん(22)は「世界中の若者と議論をするときに、子供たちの笑顔を忘れないようにしたい」と話していた。